● マルシェノルド バックナンバー

第1号 「地域経済の自立に向けて」(99年9月25日発行)

第2号 「北海道ツーリズムを考える」(00年1月25日発行)

第3号 「都市と商業」(00年6月25日発行)

第4号 「循環型社会を目指して」(00年10月25日発行)

第5号 「地域とアート | (01年2月25日発行)

第6号 「地域とIT | (01年6月25日発行)

第7号 「北海道の食産業を考える」(01年10月25日発行)

第8号 「NPOのあり方を考える」(02年2月25日発行)

第9号 「北のものづくり | (02年8月25日発行)

第10号 「地域経済の自立的発展と観光産業」(03年2月25日発行)

第11号 「地域景観とまちづくり」(03年8月25日発行)

第12号 「地域と大学」(04年2月25日発行)

第13号 「北海道らしいエコツーリズムを考える」(04年8月25日発行)

第14号 「地域ブランドの時代」(05年2月23日発行)

第15号 「地域と医療 | (05年8月25日発行)

第16号 「北海道発 産消協働 | (06年2月24日発行)

第17号 「地域とスポーツ」(06年8月25日発行)

第18号 「地方都市の再生」(07年2月23日発行)

第19号 「地域と農業」(07年8月25日発行)

第20号 「地域と図書館」(08年2月25日発行)

第21号 「脱温暖化と地域 | (08年8月25日発行)

第22号 「社会的企業と地域の活性化」(09年3月24日発行)

第23号 「食の安全と北海道」(09年8月25日発行)

第24号 「森林と地域再生 | (10年2月23日発行)

第25号 「地域と福祉 | (10年8月25日発行)

第26号 「企業の力と地域の活性化」(11年2月24日発行)

第27号 「地域航空を考える|(11年8月25日発行)

第28号 「震災復興と地域」(12年2月24日発行)

第29号 「地域と金融」(12年8月27日発行)

第30号 「地域と再生可能エネルギー」(13年2月25日発行)

第31号 「沖縄と北海道」(13年8月26日発行)

第32号 「東北と北海道」(14年2月25日発行)

第33号 「地域とバックアップ機能」(14年8月25日発行)

第34号 「地域と公共交通」(15年2月24日発行)

第35号 「インバウンドと地域戦略」(15年8月25日発行)

第36号 「進化する『道の駅』|(16年2月25日発行)

第37号 「地域の建設業を考える」(16年8月25日発行)

第38号 「地方創生」(17年2月27日発行)

第39号 「長寿社会と地域」(17年8月25日発行)

●「マルシェ: marché」とはフランス語で市場のことで、同音の「マルシェ: marcher」には歩む、行進する、進歩するという意味もあります。北海道(ノルド: nord=北)が、多くの人々が集い、交流し、活気あふれる地域へ発展するようにとの願いを込めて、「開発こうほう」の地域経済レポート特集号として「マルシェノルド」(年2回、9・3月号を予定)をお送りします。地域を考えるきっかけとなるように、毎号、地域経済特有のテーマを取り上げてまいります。

March.2018 **No.656**

編集後記

今地域が直面している多くの問題、人口減少、 高齢化、地球環境問題などは、単独の地域だけで 解決できないものばかりです。そこでは地域間の信 頼関係、協調関係を強化していくことで、解決の道 筋が見えてくることがあります。人々の社会的なつ ながりが社会の資本(ソーシャルキャピタル)であ るように、これからは地域間連携が社会の大切な 資本となるでしょう。(S.K)

地域間連携の醍醐味は、足し算だけでなく掛け 算が可能になることだと感じています。地域と地域 が手を結ぶことで、それぞれの地域の新しい価値 を生み出していくことにつながっていくと思います。 行政や組織だけでなく、個人から広がっていく地域 間連携もあるのではないでしょうか。一人ひとりの 視点で、地域間連携の中で何かできるのかを考え ていくことが大切だと思います。(M.S)

●開発**こうほう**/地域経済レポート特集号|**KAIHATSUKOHO**

マルシェノルド

●ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

(一財) 北海道開発協会広報研修出版部

●(一財)北海道開発協会では、賛助会員を募集しています。 詳しくは、ホームページをご覧ください。

開発こうほう 第656号 平成30年2月26日

発 行 (一財) 北海道開発協会

編集協力小磯修二

印 刷 所 (株) 須田製版 不許複製

http://www.hkk.or.jp/